

平成25年度 事前評価実施地区一覧表

森林管理局 中部

整理番号	都道府県	事業実施主体		事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考		
										I 必須事項					II 優先配慮事項												
										1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等								
															(1)	(2)	(1)	(2)	(3)								
															①	②	③	④	⑤								
1	富山県	中部	富山	森林環境保全整備	庄川森林計画区	しょうかわ	65,704	5,746	11.43	○	○	○	○	○	B	B	B	A	A	-	A	C	B	A	A		
2	岐阜県	中部	岐阜	森林環境保全整備	揖斐川森林計画区	いびがわ	280,996	121,493	2.31	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	B	A	B	B	A	A		

※森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	庄川森林計画区 （富山県）	事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当事業は、庄川森林計画区的全森林面積の8%にあたる国有林野8,473haを対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は富山県南砺市に所在し、西は石川県、南は岐阜県に接する県西部に位置し、計画区の西側には砺波平野を横切る小矢部川が、その東には岐阜県を源とする庄川が、いずれも北上し富山湾に注いでいる。森林の現況はブナ・ナラ等の天然林の割合が89%と高く、11%を占める人工林は9～15齢級に偏った構成となっており、大部分がスギ林となっている。自然景観に恵まれた森林はハイキングなどの場として利用され、白山国立公園等の自然公園にも指定されている。</p> <p>また、庄川、小矢部川とその支流が谷を刻む急峻な地形を形成しており、国有林野の全域が土砂流出防備、水源涵養の保安林等に指定されている。岐阜県境に接する山間地域では積雪深が3mに達する豪雪地帯もある。</p> <p>機能類型は、山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア）が84%を占め、土砂の流出・崩壊の防備など国土保全の役割が期待されるとともに、地域の水源としての役割も担っている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく、山地災害防止、水源涵養機能等保安林の機能の高度発揮に寄与するため、保育作業を実施し、健全な森林を育成し、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 保育面積 27ha</p> <p>総事業費 2,496 千円</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	65,704 千円	
	総費用（C）	5,746 千円	
	分析結果（B/C）	11.43	
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や山地災害防備等国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、地域住民の安全と山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 		

便益集計表

(森林整備事業)

事業名：森林整備

都道府県名：富山

施行箇所：庄川森林計画区

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額	備考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	22,974	
	流域貯水便益	12,936	
	水質浄化便益	26,532	
環境保全便益	炭素固定便益	3,262	
総便益 (B)		65,704	
総費用 (C)		5,746	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{65,704}{5,746} = 11.43$		

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	揖斐川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、揖斐川森林計画区的全森林面積の8%にあたる国有林野9,962haを対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、揖斐川上流の福井県及び滋賀県との県境周辺に主として位置し、森林の現況は、ブナ、ナラ等の天然林が89%を占め登山や自然観察など森林を利用したレクリエーションの場として、多くの人々に利用され、揖斐関ヶ原養老国定公園や揖斐県立自然公園等の自然公園にも指定されている。また、地形が急峻で地質的にも不安定な箇所が多いことから、国有林野の全域が保安林に指定されており、豪雨災害等により森林整備に対する関心が高まる中で山地災害防止、地域の水源としての役割を担っている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく、山地災害防止、水源涵養機能等保安林の機能の高度發揮に寄与するため、保育作業及び間伐を実施し、健全な森林を育成し、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>16ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>93ha</td> <td>（うち間伐 29ha）</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良</td> <td>370m</td> <td></td> </tr> </table> <p>総事業費 113,048 千円</p>			森林整備	更新面積	16ha			保育面積	93ha	（うち間伐 29ha）	路網整備	改良	370m	
森林整備	更新面積	16ha													
	保育面積	93ha	（うち間伐 29ha）												
路網整備	改良	370m													
費用対効果分析	総便益（B）	280,996 千円													
	総費用（C）	121,493 千円													
	分析結果（B/C）	2.31													
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見															
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や山地災害防止等国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の發揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を發揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 														

別紙様式7

整理番号2

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林整備
施行箇所：揖斐川森林計画区

都道府県名：岐阜
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	111,362	
	流域貯水便益	11,856	
	水質浄化便益	27,820	
山地保全便益	土砂流出防止便益	79,513	
環境保全便益	炭素固定便益	10,677	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	10,752	
	木材利用増進便益	22,379	
	木材生産確保・増進便益	6,055	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	582	
総 便 益 (B)		280,996	
総 費 用 (C)		121,493	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{280,996}{121,493}$	= 2.31